授業科目	＊卒業研究（高橋）					単位	4
履　　修	必修	関連資格				ナンバリング	TO32106J
開講年次	4	開講時期	通年	該当DP	DP1-1 DP1-2 DP1-3 DP1-4 DP2-1 DP2-2 DP3-1 DP5-1 DP5-2		
担当教員	高橋　幸夫						
授業概要	大学 4 年間の集大成となる授業で、卒業論文を完成させていく最も重要なものである。これまでに学習した成果を活かし、観光学の立場から社会に還元することが出来るものとし、具体的な研究成果をまとめ、論文執筆を行う。また、論文の発表などプレゼンテーションの方法も会得する。 各担当者の授業の詳細については、ゼミ募集時に配布されたゼミ案内に記載された内容を参照のこと。						
学生が達成すべき行動目標	1. 自ら選択したテーマをさらに発展させることができる。 2. 各自の論文内容の概要確認をすることができる。 3. 各自の論文の中間報告をすることができる。 4. 良い卒業論文を完成することができる。 5. 論文の発表などプレゼンテーションの方法も解得することができる。						

達成度評価

評価と評価割合／評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	50	25	25	0	100	
知識・理解（DP1-1）			10	5	5		20	
知識・理解（DP1-2）			5				5	
知識・理解（DP1-3）			5				5	
知識・理解（DP1-4）			10	5	5		20	
思考・判断（DP2-1）			5	5			10	
思考・判断（DP2-2）			5		5		10	
関心・意欲（DP3-1）			10	5	5		20	
関心・意欲（DP3-2）								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度（DP4-3）								
技能・表現（DP5-1）				5			5	
技能・表現（DP5-2）					5		5	
技能・表現（DP5-3）								

具体的な達成の目安

理想的レベル	標準的なレベル
論理的に筋道立てて考え、自分の言葉でわかりやすく、口頭および論文で述べる能力を習得できている。	論理的に筋道立てて考え、聞く人を想定しながら、自分の言葉でわかりやすく、口頭および論文で述べる能力を習得できている。

授業計画

進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)

1	1～28 回のすべてのテーマ・講義内容については、第1 回目の授業で担当者によって説明されます。			
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				

25				
26				
27				
28				
29				
30				

理解に必要な予備知識や技能	3 年次までの演習・研究科目についての理解が、きちんとなされていること。
テキスト	担当者により、説明がされます。
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	1.知へのステップ 2.図書館の朝日新聞のデータベース/ JapanKnowledge / ブリタニカオンラインジャパン （学内のみで閲覧可） 3.担当者により説明されます。
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	大学での学びの総決算です。社会にしっかりアンテナを張って、自分の関心があるものを常に意識するようにしていきましょう。そうすることで、卒業研究のテーマについて、深めることができるばかりでなく、社会に出ても、生き方の指針となるような物差しを得ることができます。 提出した論文の案文、口頭発表などに対して与えられた教員やゼミ生からのコメントを踏まえ、さらに自ら必要な情報･データ･事例を収集し、文献を読み、考え、書いた論文を向上させる努力が求められます。情報収集、論考、意見の発信という卒論への取り組みは、4 年間の勉学の集大成となるものであり、また将来の自分の知的活動（社内の稟議・提言や顧客への提案など）の土台となりうることを念頭に、他の授業科目とは異なる特別な思いと意気込みで、注力してほしいと思います。 「研究活動をする学生・教職員のみなさまへ」を理解して、卒業論文に誠実に取り組んでください。
達成度評価に関するコメント	社会人基礎力を十分身につけて、社会で活躍できるように学力、人間関係を円滑に運ぶことができる人間力を体得して、大学での学びの結びとなるようにしましょう。